

関西ワーカーズ・コレクティブ連合会ニュース

「一般社団法人 市民セクター政策機構」・「ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン(WNJ)」共催

「ワーカーズ・コレクティブ研修 in 東京」スタート!

事業強化講座「企画・資金・人材・運営」 ●生活クラブ連合会 7F会議室(東京都新宿区)

地域の社会、経済、環境などの課題への取り組みを引っ張っていただけるワーカーズ・コレクティブ(W.Co)の人材育成、事業・組織改善を目指して、W.Coのリーダー層を対象にした5回連続(1・2・3・4・6月)の研修がスタート。

北海道・神奈川・千葉・埼玉・東京・関西の各連合組織、単体W.Co、WNJから合計19名が参加し、「特定非営利活動法人『環境・持続社会』研究センター」(JACSES)事務局長の足立次郎さんを講師に、W.Coの事業・組織を効果的に運営していくためのさまざまな手法/スキルを学んでいきます。関西W.Co連合会からは各回1名ずつ4名が交代で参加し、役員全員で内容を共有しながら課題解決を図ります。



課題図書として、P.F.ドラッカー著『非営利組織の経営』を読んだ参加が求められました。関西W.Co連合会で事前に読み合わせ会をおこない、研修に臨みました。

第1回 1/20(土) -----

講義を聴くだけでなく、お互いに意見を出し合い、研修終了の6月には、何らかの成果を出せる研修会にしようとスタートしました。

北海道、東京、神奈川、愛知、関西…と色々な地域から集ったメンバー。「新規事業の企画がしたい」「人材育成のノウハウの取得」「組合員を増やす」「連合会の意義を見出す」など達成したいことはさまざま。

まずは、ワークシートを使って、自分たちの組織の内外の環境を分析するお話を聴きました。組織のミッション(使命)は、何なのか? 自分の組織の強みは何か、どこが弱みなのか? お金がない、人が足りないならいったいどのくらい必要なのか。現状と目標の差をはっきりさせて、いつまでに、何をしたいかを明確にしていくことが欠かせない、ということでした。

自分の組織の「ええところ」「悪いところ」「今年の目標」「将来の夢」を数値目標も入れてははっきりさせることの大切さを感じました。

W.Coは、働く人の居場所・出番を作っている。自分も働いている人もサービスを受けている人も支援してくれている人も皆が満足できる組織作りも大事だというお話で締めくくられました。

W.Co キッチンよりあい 辻 久美子

第2回 2/17(土) -----

非営利組織に必要な「マーケティング、人、資金」について講義を受けた後、参加者の課題発表・意見交換をおこないました。

今は一般企業でも「社会的にもいいことをやってる」じゃないと人は入ってこない(三方よし=社員よし、顧客よし、社会よし)。W.Coなど非営利組織は、受託・助成・寄付などお金を出す人(支援者)とサービスを受ける人(受益者)が違うのが特徴。受益者だけでなく支援者も「客」であり、満足させなければならない。支援者は「このお金で社会にいいことをやりなさい」といってお金を出してくれている。だから非営利組織は、他の組織よりも成果を出さなければならない。「NGOは成果がすべて!」の言葉が強く心に響きました。支援者にどんな良い成果・良い報告をお返しできるかを考えれば、私たちが何をやればいいのかも見えてくる気がしました。

講義の後、各団体が抱える悩み・解決したいことを発表し、助言し合いました。私たちの「ミッションが定まらない」という悩みに対しては、「役員とは議案書の内容を執行する人、その役割を皆で認識するべき」という助言もあり、とても明確で、その通りだと、やると決めたことをやるだけじゃないかと改めて気づかされました。今年度成し得なかったことも、今後、議案書の計画をひとつでも多く実行して返していかなければいけないと思いました。

W.Co パックプランニング 湊 育子

ワーカーズ共済情報!

W.Co共済は「たすけあいの輪」を拡げています

「ワーカーズ・コレクティブ共済(株)」の2月度の報告では、「ワーカーズ・コレクティブ所得保障共済」の申請承認件数は24件、給付金額は743,270円です。

関西W.Co連合会の2月度給付は1件ありました。

●車止めに足をぶつけ、左足を骨折した。(W.Coつむぎ屋)

→就業外傷害休業保障 54日 共済金 50,000円

W.Co共済は、就業外でもケガと休業保障(所得保障)があります。「ケガや病気で給付を受けることになった」メンバーを「元気で働ける」メンバーが助ける。そんなお互いさまのたすけあいです!

*関西W.Co連合会のワーカーズ共済加入は8ワーカーズ61名です。

(2018年2月現在)

ワーカーズ・コレクティブとは、地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資し、経営し、労働をも担う働き方をいいます。

第4回 W.Co 共済 事務委託組織交流会議(K9)

2月3日(土)・横浜市 関西 W.Co 連合会から1名参加

今回は北海道、愛知、東京、千葉、群馬、神奈川県、関西の各連合組織と福祉クラブ生協の参加があり、活発な意見交換がありました。

代表取締役の島田純子さんの挨拶と参加者の自己紹介のあと、W.Co 共済約款変更の説明がありました(詳しくは「ワーカーズ・コレクティブ共済だより」No.32をご覧ください)。続いて、ワーカーズ共済コンセプトと、さらなる発展を目指して加入対象者拡大について、生活クラブがワーカーズ共済に取り組む意義について、ていねいな説明がありました。

ティーブレイクの後は、2017年10月に開催さ

れた「WNJ 全国会議 in 北海道」の自主企画「労災と W.Co 共済の違い」の報告の後、ワーカーズ共済のイメージキャラクター「きょうこちゃん」が登場した具体例をお聞きし、楽しいエピソードに大いに盛り上がりました。

意見交換では、拡大状況や事務処理の具体的な内容、「共済だより」の使い方など、参考になりました。

W.Co 共済は組織強化のためにも魅力的だと思います。ていねいに伝えることで北海道から関西までのワーカーズ同士の「たすけあいの輪」をひろげていきたいと思っています。

W.Co かぐや姫 泰中 智美



2018年度より事業拡大として、「W.Co ココスモス(配達業務委託)と合併しました。配達地域は、河内長野市、大阪狭山市、千早赤坂村、富田林市の二部、和泉市の一部で、約1600名の組合員にエスコープ大阪の消費材を配達しています。

2017年度末より、これまで職員が担当していたコースの受け入れもあり、コース編成の見直しなどで毎日バタバタしていますが、新しく受け持った組合員の方々とお目にかかれることを楽しみに配達しています。ご高齢の組合員も多く、コミュニケーションをとり、できるだけコースに対応しています。

また、年2回福祉ワーカーズ・オアシスと

合同企画で組

合員交流会を開

催しています。

河内長野・大阪

狭山地域のさら

なる活性化に貢

献できるようにス

タッフ全員でがんばりま

す!

関西 W.Co 連合会の
ワーカーズを
紹介します

W.Co
かぐや姫

<配達業務委託>

プロフィール

設立●1994年10月
所在地●エスコープ大阪
河内長野支所
メンバー数●12名

エスコープ大阪河内長野支所の体制が変わりました

2018年度新体制により、河内長野支所の配達はすべて「W.Coかぐや姫」と「W.Coあすか」が担当することになりました。

3月3日(土)、朝早くから配達職員の引越しが始まり、泉北支所に移動しました。続いて、W.Coあすかが河内長野支所に引越してきました。荷物の出し入れや配線、配置でバタバタしましたが、なんとか無事終了しました。

河内長野支所から事務・総務の職員以外なくなるのはとても不安ですが、これからはW.Coかぐや姫とW.Coあすかで河内長野支所を盛り上げていきます。



キリトリ

●今後も関西 W.Co 連合会や W.Co ネットワークジャパン(WNJ)の情報を
お送りしたいので、下欄に記入の上、FAX もしくはメールでご連絡ください

【宛先】 FAX : 072-341-0022 メール : kansaiwco@gmail.com

ワーカーズ名 :

業種 :

電話 :

メールアドレス :

関西ワーカーズ連合会宛



つぶ
やき

今年も『東ティモール コーヒー』の産地へ 行きます

今年で4回目の訪問になります。初めて産地の東ティモールを訪れたのは2011年でした。独立してから9年が経っていましたが、まだあちこちで国連軍の車両を見かけました。植民地や強制併合などの支配から独立するまでの壮絶な歴史に触れた時、彼らがつくるコーヒーを飲むことが彼らの自立につながっていくのなら、私たちはそれを伝え、焙煎し、またここへ来なければならないと心に刻んだのを憶えています。

季節が移り空気が変わるこの時期は、焙煎も移っていきます。頭を悩ませながら、産地に思いを馳せながら、焙煎機の中で回る豆たちに「おいしくな〜れ、おいしくな〜れ」とささやく毎日です…。

コーヒー焙煎ワーカーズ 珈琲工房まめ福
白江 祐子